

令和5年度（2023年度）熊本市震災対処訓練（第二部）の概要について

- ▶ 震災対処訓練については、発災直後の初動対応を毎年着実に取り組みつつ、各年度フェーズを変えながら計画的に取り組むこととしている。
- ▶ 今年度から、訓練を年2回（4月、11月）に分け実施。4月に実施した訓練（第一部）では、発災直後の初動対応（職員安否確認・参集）を重視、11月に実施する訓練（第二部）では、災害応急活動（災害対策本部運営、現地実動等）に重点的に取り組む。

【1】目的

熊本地震の教訓を踏まえ、市民や地域、施設管理者、防災関係機関、民間企業等と連携し、全市的な訓練を実施することで、地域防災力の更なる強化を図るとともに、訓練を通して熊本地震の記憶や教訓を継承していくことを目的とする。

特に、今回は、発災4時間後を想定した図上訓練に加え、自衛隊や協定団体などの関係機関と連携した実践的な災害応急活動実動訓練を行い、災害対応能力の向上を図る。

【2】実施日時・場所等

- （1）日時 令和5年（2023年）11月12日（日）
9時00分～13時00分（予定）
- （2）場所 市内一円（本庁舎、区役所、避難場所（スペース）等）
- （3）参加 地域（校区防災連絡会及び市民等）、施設管理者、市職員（本部・各対策部・避難所担当等）、防災関係機関、協定企業 等

【3】訓練想定

- ・ 令和5年（2023年）11月12日（日）午前5時、熊本地方を震源とする震度6弱（M6.5）の大規模な地震が発生（津波注意報発表）。（東区・西区・南区は震度6弱、中央区・北区は震度5強）
- ・ 市内では、多数の人的・住家被害が生じ、各所で停電・断水が発生。

【4】訓練内容

No.	訓練項目	訓練内容
1	災害対策本部会議訓練	災害対策本部会議の実施
2	総合調整室運営訓練 ＜防災関係機関と連携＞	全市的な被害情報等の集約、整理及び各種調整
3	各対策部運営訓練	各対策部による訓練
4	情報収集伝達訓練 ＜地域と連携＞	被害や避難場所の状況など、システムやドローンを活用した情報収集伝達訓練
5	孤立者救助訓練 ＜地域・自衛隊と連携＞	自衛隊等との共同による孤立者救助
6	住民輸送訓練 ＜地域・自衛隊等と連携＞	自衛隊等との共同による危険地域からの住民輸送
7	物資供給訓練 ＜地域・協定企業と連携＞	特命隊や協定団体等と連携した避難所への物資配送
8	避難所開設運営訓練 ＜地域・施設管理者と連携＞	避難所運営委員会による避難所参集、開設、受付、運営、炊き出し等
9	耐震性貯水槽給水訓練 ＜地域と連携＞	耐震性貯水槽を活用した給水訓練
10	マイタイムライン作成訓練 ＜地域と連携＞	マイタイムラインの作成に係る研修

図上訓練

実動訓練